

白糠町制施行70周年記念式典

11月3日、町制施行70周年記念式典を社会福祉センターで開催しました。本町は1950年11月1日に町制が施行され、今年で70年となります。

式典には約150人が出席し、70年の節目を祝うとともに、町のさらなる飛躍を誓いました。

式ではまず、先人に対する労苦をたたえ、感謝の黙とうがささげられました。その後「町制70年の歩み」と題した記念ビデオが上映され、70年の歩みを振り返りました。

引き続き、棚野町長が「町の発展は先達のたゆまざる努力とまちづくりに対する情熱、そして心を添えて引き継いできたおかげ。時代を担っていく子や孫へ『ふるさと白糠』をしっかりと引き継いでいくために、これまで取り組んできたまちづくりを着実に前へ進めていきたい」と式辞を述べました。

町長の式辞後、70周年特別功労者と今年度の功労者一人一人に、棚野町長から表彰状が授与されました。

続いて、文化奨励賞の授賞式が

行われました。授賞式では、はじめに川島眞澄教育長が「町民一人一人の活動が、生涯学習社会をつくる大切な役割を果たしています。教育委員会としても、今後一層、

文化・体育活動の振興・発展に、努力していく」と式辞を述べました。続いて、郷土芸能の普及推進と情報発信に貢献されたとして、「白糠駒踊り音頭保存会」の廣谷スマ子さんに、文化奨励賞を授与しました。

富田忠行町議会議長は「議会としても先人たちの思いとともに、町民の皆さまと一層連携し、心豊かに住み続けられるまちの実現を目指して努力していく」と祝辞を寄せました。

式の最後には、白糠駒踊り保存会による「白糠駒踊り」、株式会社社オカモトに所属している和光憂人さんと長尾崇人さんによる「バイオリンとピアノ演奏」が披露されました。

◆各受賞者は次のとおりです。

